

華

第 69 号

令和 5 年 4 月 発行

F 電 編 5 6 7 1 0 0 3 5
A
X 話 集 0 7 2 1 6 6 5 1 5 1 6 6
茨木市見付山1丁目3-29
慶 徳 会 広 報 室

穏やかに令和5年のお正月を迎え、慶徳会の入居各事業所で新年初のお詣り「修正会」を勤修し、また新年を寿ぐ「お祝い会」を催しました。

元日のトップを切って常清の里では、10時から毎年ご協力頂いてます打本弘祐師に導師をお願いして、修正会をお勤めし、同師によるご法話も頂き、続いて法人内から参詣の理事長を初め役職員が皆様にご挨拶させて頂きました。

正午前からは、春菊荘で相談役の導師により、13時から光華苑・春菊苑で矢次淳一業務執行理事、翌2日は、10時から森大輔施設長がそれぞれ導師を勤め、年頭に当たっての講話を披露しました。

新しい年を迎え、仏様の前で身を正すとともに、一年間の希望を胸に、ご一緒にお詣りのできることを感謝しつつ、修正会をお勤めしました。

お詣りに引き続き（または、その前に）皆様お楽しみの「新年会」を開きました。

常清の里では、おせち料理に舌鼓



常清の里
(元日・10時)

修正会・新年お祝い会

真華苑
(2日・10時)



光華苑・春菊苑
(元日・13時)



を打って頂く中、職員が年末から企画して頂いた「笑い初め」のイベントを披露し、楽しんで頂きました。

光華苑・春菊苑でも、豪華なおせち料理を目の前にして「わあ、きれい」、「めでたいわあ」と感嘆の声があがるなど、とても明るい雰囲気の中で希望に満ちた新年会となりました。

一方、真華苑では、調理担当職員が腕によりをかけた名物おせち料理に白みそ雑煮でお祝いし、中には、お雑煮をお替りされる方もお出で、とても和やかで明るいお正月らしいひと時となりました。

3年余にわたって、コロナ禍により、このような法要やイベントを控えるを得ませんでした。ようやくその制約が弱まる兆しが見えてきました。一日も早く平常に戻り、ご利用の皆様が心豊かに楽しんで頂けるような催しが数多くできることを職員一同、心から願っております。



ふじだな

感染予防の緩和という明るいニュースとともに、新年度を迎えました。

慶徳会の事業の性質上慎重に対応しながらも、前向きに事業・行事に取り組んでまいります。

今年は桜の開花も例年より早く、昨年までは外出を控えていた多くの方々が賑わいました。慶徳会でも子どもたちの子ども達を中心に常観堂で「花見・花祭り」のお祝いを致しました。同園では、小規模施設「リユッケホーム」も4月からオープンして希望に満ちたひと時となりました。

慶徳会は、児童・高齢者・障がい者福祉の分野で40を超える事業に、日々500人の方々にご利用を頂いておりますが、この3年あまりコロナ禍のため、誠に残念ながらご利用を控えて頂くような時期がありました。たことを大変申し訳なく存じております。

ウイズコロナ時代が続きます。が、事業所と致しましても色々と工夫を凝らしながら、皆様に親しまれ、ご信頼を頂くことができますよう、職員一同努めてまいりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

いつも温かいご支援ありがとうございます

ご寄付を頂戴した方々（敬称略・五十音順）

令和4年3月～令和5年2月（職員を除く）

【個人様】

秋岡 壽	浅田 武子	池田 克美	井上 貢一
今北 マサエ	岩本 林平	上原 久美子	梅田 徳代
岡 恵子	奥山 卓二	鎌田 和子	唐住 武弘
坂岸 謙一	阪本 帰漣	佐藤 直樹	白井 真一
調 龍信	高橋 秀幸	竹本 恵吾	田中 洋
富田 信夫	中根 超信	原田 あつよ	東 秀樹
福尾 剛志	福島 静子	藤田 雅外	増井 スミ子
松本 圭明	丸山 慶三	三坂 文乃	元田 淑夫
柳川 榮子	大和 治文	大和 美代子	山野 文枝

【団体様】

朝倉歯科医院 (株)アサヒディード (株)アピスファーマシー
茨木地区更生保護女性会 SKT豆腐屋 MTI(株)
(社福)大阪府社会福祉協議会(万代)
大阪よどがわ市民生活協同組合 カイエダ建設(株)
(株)掛谷工務店 春日丘地区福祉委員会 加勢本建鉄(株)
勝部建設(株) (有)サンサー商会 JETBOOK作戦
(宗)辯天宗 田中歯科クリニック 紡ぎの輝
長尾建築設計事務所 中谷カルナー財団 (株)For it
(株)北部市場運送 (株)まほうのつばさ (株)みなと

「しみず」の生活介護施設外活動として、イオンタウン茨木太田で、令和5年2月13日（月）～19日（日）開催の「ちかつアートフェスタ」（フェスタ）に出かけました。

フェスタの「ちかつ」とは、「茨木市地域活動支援センター」の略称で、市民や当事者の方々に障がい者アート作品の展示等を通じて、同センターのこともっと知って頂くとうと開催されている啓発イベントです。

「しみず」のご利用者は、各日に分かれて参加しました。事前にイオンタウンのフードコートで軽食を摂ることになっていましたので、みなさんワクワク感を隠せない様子で、何を食べようかと、とても楽しみにされていました。

イベント会場では、アート展示・物販・ワークショップのコーナーがあり、ご利用者の皆さんはアート展示を見学したりワークショップに参加したりして楽しみました。

フードコートで軽食を楽しむ



～『しみず』生活介護～
施設外活動のレポート！！

「ボッチャ体験」
白球に狙いをさだめて！！



「マスキングアート体験」
制作に没頭する
「しみず」のアーティスト



ジ（これもアートです）をプレゼントされ、大いに盛り上がりました。マスキングアート体験では、いろいろな柄や色のマスキングテープから好きなものを選び、白い紙の上にちぎって貼って自分だけのアート作品を作りました。普段からテープ工作が大好きなご利用者は、とても集中して作り上げ、出来栄に納得の表情でした。

そして待ちに待ったフードコートでの軽食です！ドーナツとコーヒー、ポテトフライとジュース、さらには、1階の食料品売り場でパンやスイーツ、ご自分でメニュー表や実物を見て、「これが食べたい」と思うものをそれぞれで購入されました。

「コーヒーおいしいです。おかわりしてもいいですか？」と「おかわり自由」のコーヒーを3杯も飲んでいた方や、嬉しくてずっと笑いながらポテトを食べつづけられた方なども見受けられました。

皆さんにとりましては、フードコートでの軽食がメインイベントだったのでは？！と思ってしまうくらい、当日一番の満面の笑顔が溢れていました。

ボッチャやマスキングアートの体験ができるので、ボッチャ体験では、青と赤の2つのチームに分かれて対戦をしましたが、「しみず」のレクリエーションメニューでもありますので、皆さん「やったことあるよ」と言わんばかりの慣れた手つきで真剣に目標の白球めがけて投球され、熱気あふれるゲームとなりました。また、参加賞として缶バッ

インイベントだったのでは？！と思ってしまうくらい、当日一番の満面の笑顔が溢れていました。引き上げるときに、今日はどうでしたか？と尋ねると、「良かったです」「また行きたいです」「今度はドーナツを2つ食べたいです」などの声があり、みなさんでとても楽しい時間を過ごすことができました。

～ダー十友愛訪問～



仏教婦人会事務局員（写真右側の二人）をお迎えして

ため、ご訪問は3年ぶりで、会長様のご名代としてお越し下さいました事務局のお二人を常観堂で理事長と両業務執行理事及び事務局長がお迎えして、ご厚志への感謝を申し上げるとともに、近時における慶徳会の活動状況などを紹介させて頂きました。

ご寄付につきましては、広報活動費に活用させて頂く予定です。有難うございました。

【合掌】

令和5年 顕彰職員名簿 永年 勤続 表彰 20年 勤続

西河原 統括主任	西川 友里
子どもの家 主任	西井 陽彦
常清の里 主任	寺川真由子
真華苑 生活相談員	松谷 洋子

令和4年12月18日（日）子どもの家「ドリームフェスタ2022」を開き、今回もコロナ感染予防のため、昨年に引き続き、当日参加が子ども達と職員のみ「作品展」という形での開催になりました。

今回のテーマは『えがおー』子ども達それぞれが「笑顔」と感じるものを作品にして表現しました。紙粘土で動物を作ったり、色んな材料を使って好きなものを工作したり、大好きな職員の笑顔を絵に描いたりと思

～子どもの家～ ドリームフェスタ 2022を開催

「栄養士賞」を受賞（小2児童）



「施設長賞」を受賞（小2児童）



みんなで作った感謝のカレンダー

を全員分用意しました。受賞発表を待つ子ども達が、どんな賞を貰えるのかと目を輝かせながら期待に胸を膨らます姿は、とても可愛らしく感じました。昼食は、「出張」をお願いした回転寿司の「忠次郎」さんの握り寿司で、目の前で握って貰えるという贅沢な時間を経験し、色々なネタを次々とお寿司に変えていく様子は魔法のようでした。

施設内行事としましたので、日頃お世話話になっている方々に、この日に直接お礼を伝えることはできませんでしたが、子ども達と職員で心を込めてカレンダーを作り、年末年始に感謝の気持ちとともに、お贈りさせて頂きました。

コロナ禍前のように、ドリームフェスタのご案内を差し上げ、直接お会いできるようなことを、心から願うばかりです。

子どもの家では、令和5年3月21日（火祝）に、恒例の「入学・卒業・就職」お祝い会を開きました。今年もコロナ感染予防のため、お祝い対象の子ども達とスタッフとして、お祝いに駆け付けた理事長をはじめ各施設長による開催となりました。

入学（園）は、幼稚園3歳児4名・4歳児3名、小学校2名、中学校5名、そして就職は、2名です。幼稚園は、このたびから就園年数が3年に拡大され、3歳から入園することになりました。いたいたけない幼児さんが身に着けた、まだブカブカの制服は、愛らしさとドキドキの両方を感じさせてくれます。



理事長から激励の言葉を頂く新社会人の二人

お祝いの言葉に聞き入る子ども達



お祝いの言葉に聞き入る子ども達

お祝いのプレゼントは、幼稚園や小学校で使える手提げバッグや上靴入れ、中学生以上は図書カードや商品券など、新生活で必要と考えられるものを用意して頂きました。コロナ禍前のように、ご利用者に会場で、直接お礼を申し上げることができず、寂しい気持ちもありますが、子ども達が新生活で逞しく成長していくこそが、皆様のお気持ちにこたえすることになると思いますので、今後とも、子ども達を見守って頂きますよう、改めてお願い申し上げます。

子ども達が入学した後、理事長から温かい激励の言葉を受け、子ども達からは、今後の抱負を力強く話してくれました。

「お友達をたくさんつくりたいです！」「部活を頑張ります！」「一生懸命働きます！」と新しい生活に胸を躍らせる言葉がたくさん出てきました。